



# 製造業の競争力向上に資するIoTプラットフォーム

NTTデータ  
ビッグデータビジネス推進室  
2016年 9月

**NTT DATA**

# 1. 背景

- 潮流：製造業において、IoT/インダストリー4.0等が取り沙汰されている
  - 製造業のお客様において、データをオープンにすることを起点として、バリューチェーンを構成する様々なステークホルダーが継続的な課題解決を行う仕組みが必要とされている。
- 構想：各フェーズの担当毎に実施するのではなく、サプライチェーン全体を巻き込んだ連携が必要
  - 特に共通プラットフォームによる相互での連携強化

事業課題

Procurement	Product	Logistics
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 各ベンダ毎のやりとりによるリードタイムの延伸</li> <li>● ダウンサイジングの短縮化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● スループット低下の原因特定に多大な時間とコスト</li> <li>● 自動化が進んでいるものの効率化には未着手</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 製品の販売先が把握できない</li> <li>● 共通化が進んでいない</li> </ul>

## 共通プラットフォームによる連携支援

データのオープン化	情報分析・活用	業務の最適化/リアルタイム化
<p><u>オープンデータ化</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● センサデバイスからの収集</li> <li>● 大規模クラウドへの蓄積</li> </ul>	<p><u>大量データの分析</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 活動全般の見える化</li> <li>● 分析による価値創出</li> </ul>	<p><u>業務プロセス改善</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 活用APによる業務変革</li> </ul>

## 2. IoTを支える基盤に求められる要素

弊社のこれまでの活動より、製造業のお客様に提供するIoTの発展を支える要素として真に求めるポイントは、下記の3つと想定しております。

Open  
(Interoperability)

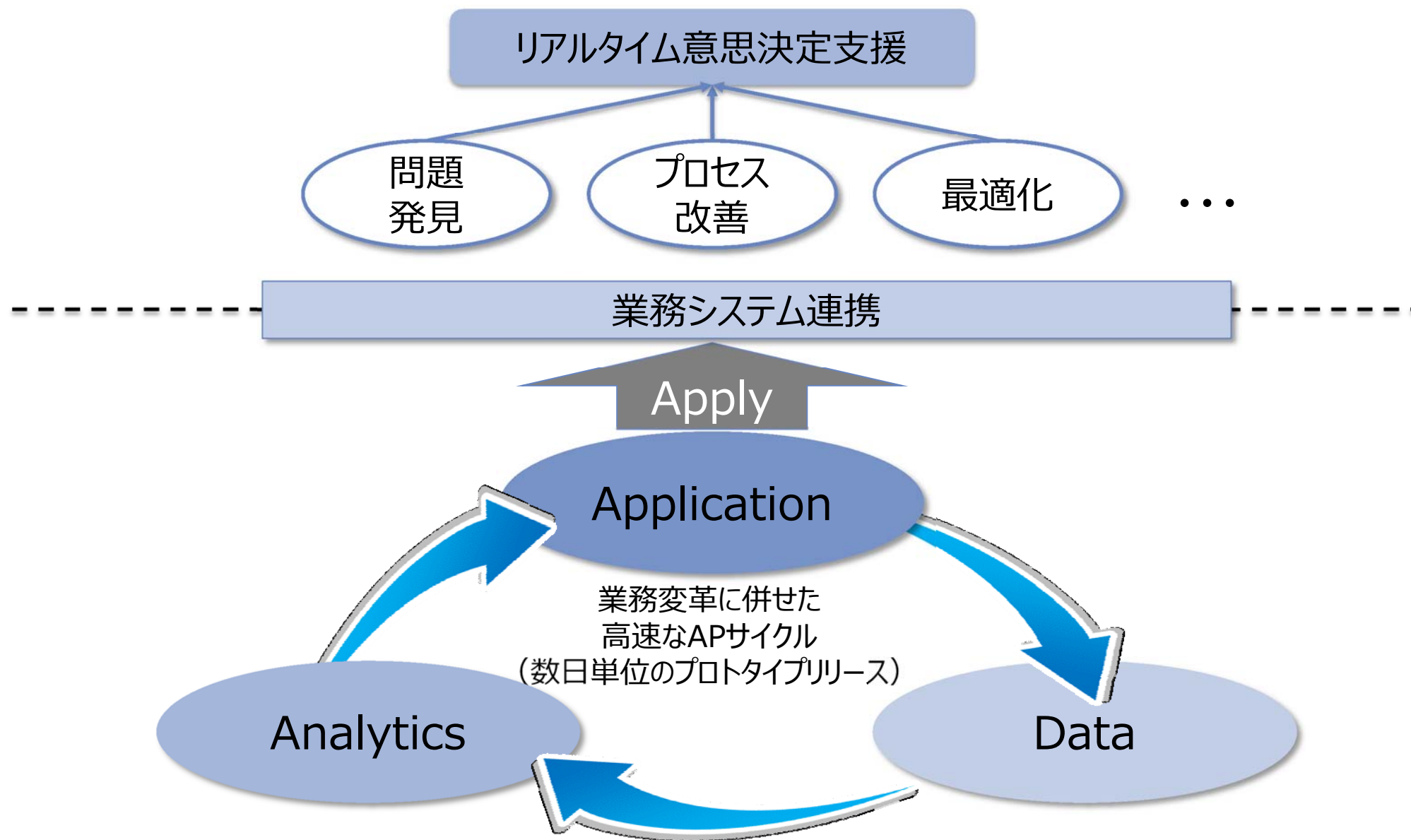
グローバルサプライチェーンにおける  
データのオープン化と様々なステークホルダの参加

Real-time

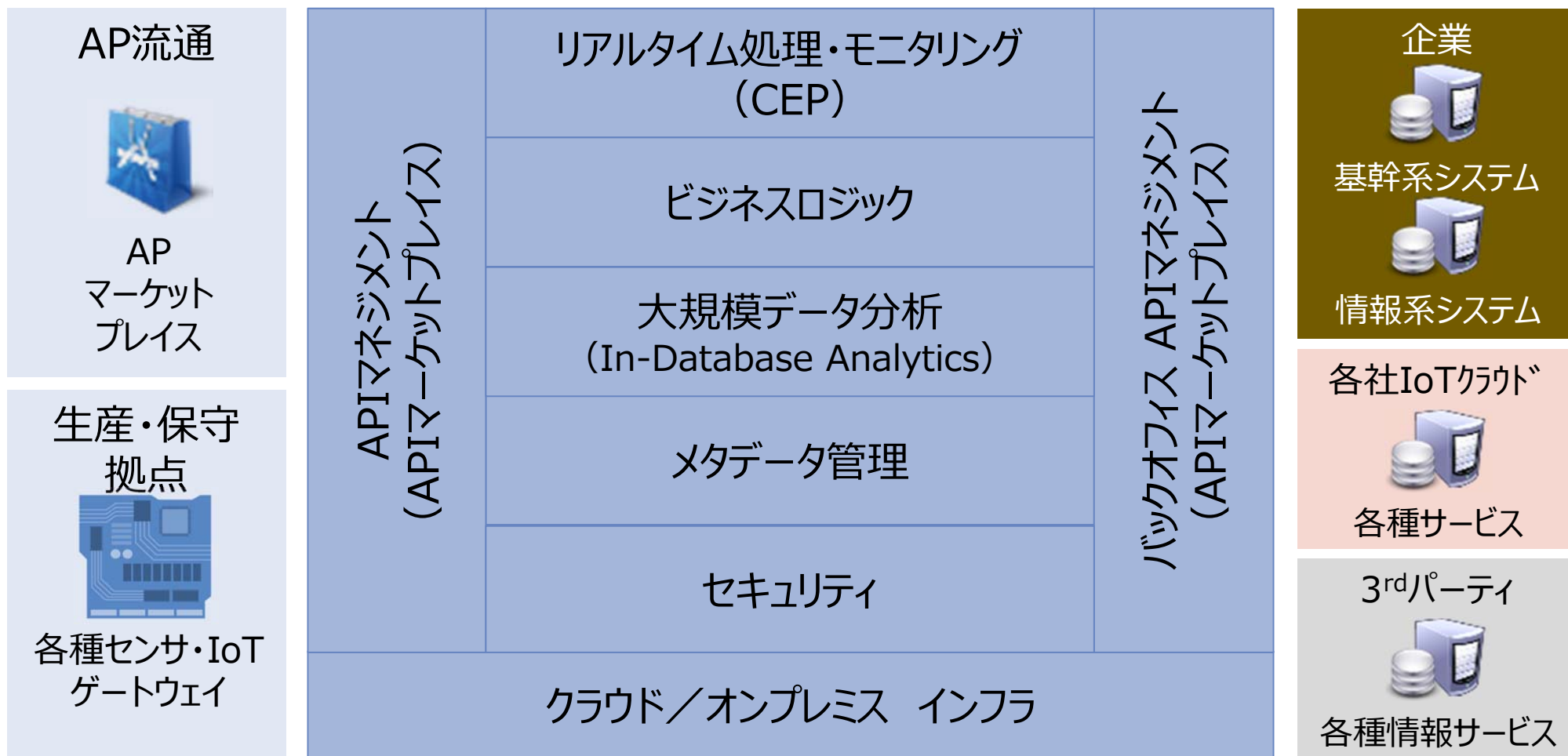
リアルタイムでのバリューチェーン全体の可視化  
問題の「原因予測」に基づくPrescriptiveな工程介入

Evolutionary

ステークホルダー間による  
分散的・自発的な業務プロセスの絶え間ない進化



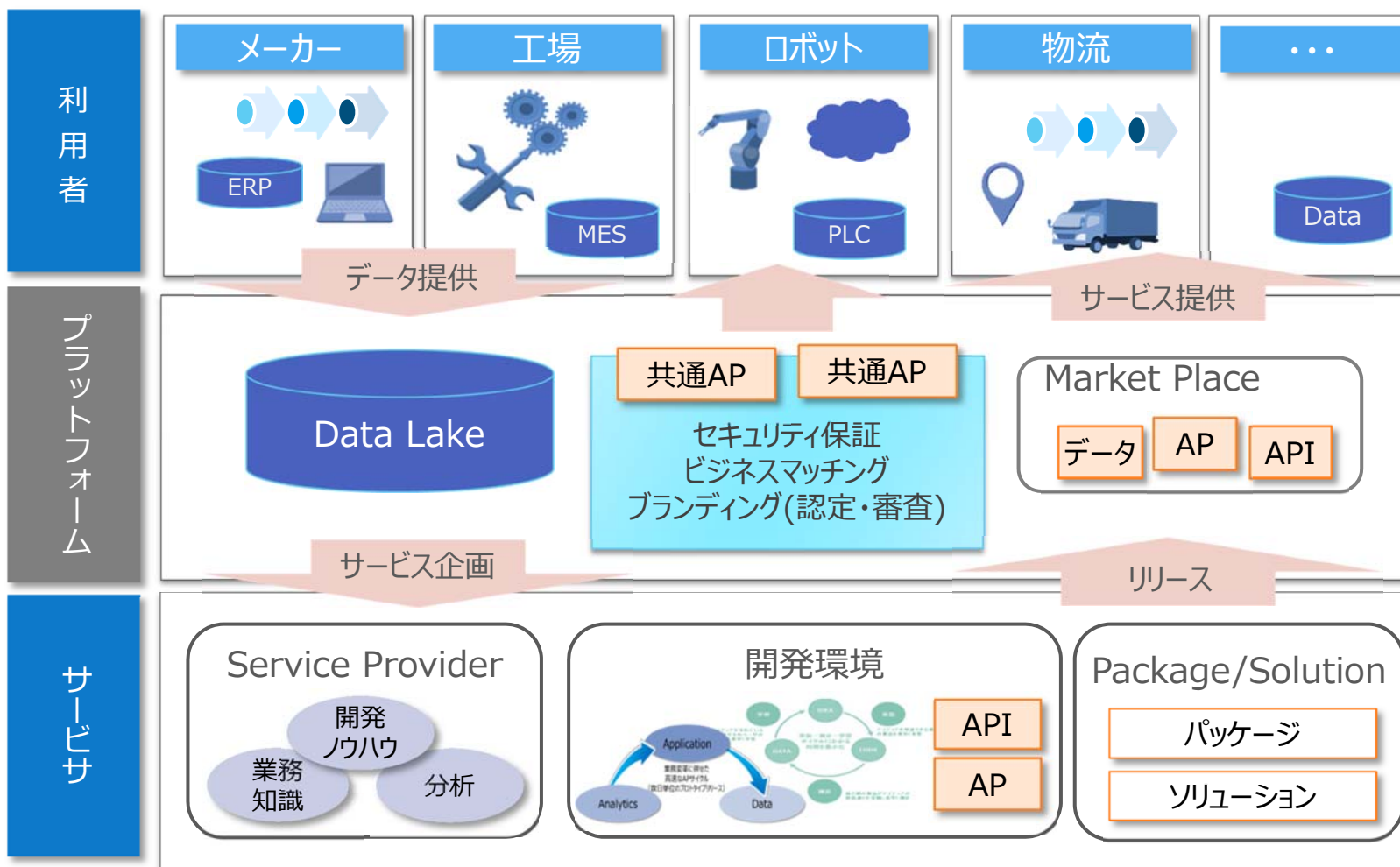
大規模・リアルタイムデータ分析プラットフォームのビルディングブロックは、収集したデータを活用するアプリケーションを容易に構築・流通するための共通機能を提供



- プラットフォームのビジネス上の利点につながる最大の特徴は、利用者が増えれば増えるほど、新たな価値を創造し、好循環が生まれます。

## プラットフォーム活用イメージ

## 活用効果



新たな  
ビジネス機会  
の創出

多種多様な  
データ蓄積による  
PF価値の向上

より価値の高い  
データ活用サービス  
の創出



# NTT DATA

Global IT Innovator